

補助事業の実施

アピアランス助成事業を令和6年度から継続実施

事業目的

がん治療に起因するがん患者の外見(アピアランス)の変化に対し、ウィッグ・補整具等の購入費用の助成を行い、がん患者の心理的及び経済的負担の軽減を図る。



補助対象の例)
ウィッグ・毛付き帽子 補整下着・乳房補整具



補助概要

市町村の補助額の1/2(上限5,000円)を助成
補助対象はウィッグ、補整具等の購入費用
※市町村により、補助額やメニューは異なります。

補助実績

県内52市町が補助事業を実施中(来年度さらに増える見込)

事業周知について

- 県のホームページで県内市町村の補助状況を随時更新
- 補助事業のリーフレットデータを作成



事業拡大に向けた取組

- 全県の未実施市町村を訪問し、事業への理解促進、予算獲得依頼実施。
- 市町村職員、医療者双方へ、ジェンダー平等の観点から、女性だけでなく、男性も事業が利用できることについて、患者さんに広くお知らせくださるよう依頼。

アピアランスケアにかかる研修の開催等

医療者向け研修会を開催

- ①オンライン研修 39名の申込者へ配信済
アピアランスケアの基礎についてyoutubeで配信
- ②実技研修 25名が参加
令和7年12月14日に埼玉医科大学かわぐえクリニックにて開催。ウィッグやカバーメイクの実技のほか、ロールプレイや各施設の情報交換を実施。



医療者と市町村職員の情報交換会を開催

- 日時 令和7年11月25日 埼玉教育会館にて開催
- 参加者 52名(市町村:34市町43名、医療者:7施設9名)
- 概要 補助の実務を担う、または事業開始を検討する市町村職員と、がん患者支援にあたる医療者の情報交換により、アピアランスケアの重要性について理解を深めた。



アピアランスネットワークマップの活動

- 概要 令和5年度アピアランスモデル事業に採択された、埼玉医科大学国際医療センター主導にて、県内の医療者間での事例共有などを実施。(年3~4回)
- 参加者 7施設
- マップ がんを経験した患者が、治療に伴う外見の変化について、気軽に相談できることを目指して、アピアランスケアマップの記載事項を検討し、作成中。

